

本ばこ

—新刊教材・図書紹介—

「日本語の教材や図書に関する新しい情報がほしい」という海外の先生方の声をよく聞きます。このコーナーでは、最近出版された日本語教材や参考書を中心に紹介していきます。誌面の制約上、一回に多くの本を紹介できませんが、「海外の先生にとって使いやすい教材」「授業や研究の役に立つ本」、また、「知っている则便利な図書・資料」などを取り上げます。

※データ凡例 1 著者 2 出版社 3 刊行年月 4 ISBN 5 判型・ページ数 6 定価 7 その他

日本語指導と教科・総合的学習の係のために

外国人児童の「教科と日本語」シリーズ

データ

1 国語：今澤 悌、齋藤ひろみ、池上摩希子、算数：池上摩希子、理科：大蔵守久、社会：齋藤ひろみ、解説：佐藤郡衛、齋藤ひろみ、高木光太郎 2 スリーエーネットワーク（〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-6-3（松栄ビル）TEL.03-3292-5751 FAX.03-3292-6195 URL. http://www.3anet.co.jp 3 国語2005年10月20日、他2005年4月20日 4 4-88319-以下 国語341-1、算数342-X 理科343-8 社会344-6 解説340-3 5 全てB5判 国語：157、算数135、理科129、社会150、解説168ページ 6 解説1,575円 他各1,890円

「発信」という流れで授業を組み立てることを提案しています。

「教科志向型」カリキュラムは、各教科の学習に日本語で参加できる力を育成することを目標としています。教室の学習では、「比較する」「分類する」「推測する」「関連付ける」「統合する」などのような「思考を支えることばの力」が重要な要素になります。「書きことば」の力を高めていくことも大切です。各教科に特有の学習の仕方に慣れることも必要です。「教科志向型」では、子どもたちが各教科の典型的な学習の流れを実際に経験することを基本構造としています。



のやりとりの例も示されており、海外のイマージョン・クラスや補習校の授業でも活用できるでしょう。教科の枠を超え、いろいろな教科の要素を盛り込んだ統合的な活動を組み立てることもできます。活動例ごとのワークシート・教材例は、拡大コピーをすれば、そのまま活用できるものが多く、まさに実践のためのリソースが詰まった本と言えます。「JSL算数科」と「JSL社会科」のワークシートをサンプルとしてあげました。見てください

▽海外の教室で

「トピック型」カリキュラムの活動例は、海外の、特に中等教育機関で「内容重視の日本語教育」を考えたい場合のヒントになります。「教科志向型」カリキュラムの活動例は、教師と子ども

このシリーズは、文部科学省のプロジェクト「学校におけるJSLカリキュラムの開発（小学校編）」の考え方と実践例をまとめたものです。日本語を第二言語（Japanese as a Second Language）として学んでいる子どもたちが学校の教科学習に日本語を使って参加できるように支援することを目指しています。日本語が苦手な子どもたちのために「調べる」「観察する」「比べる」などの活動をどのように授業の中に組み込んでいけばいいかが、解説やQ&A、活動例などを通して具体的に説明されています。「解説編」と「JSL国語科」「JSL算数科」「JSL理科」「JSL社会科」、計5冊からなっています。

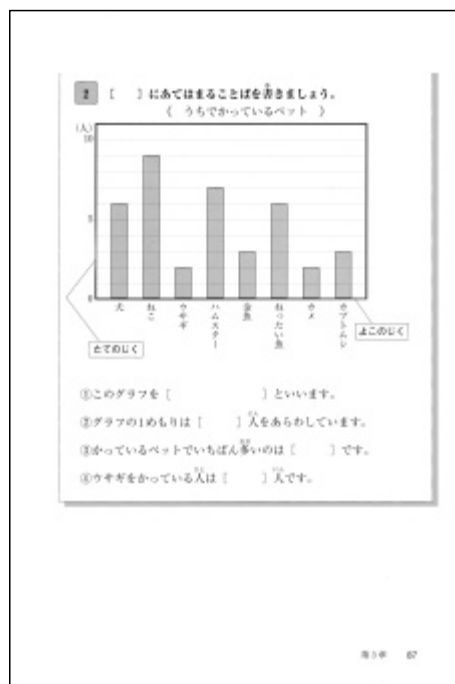
▽2つのカリキュラム

JSLカリキュラムは2つの異なるタイプのカリキュラムからなっています。

「トピック型」カリキュラムは、教科学習の基本となる活動に参加する力を高めることを目指しています。子どもたちの興味関心に合わせてトピックを設定し、自分の「体験」を日本語で表現し、それを出発点にして他の子どもたちや教師とともに「探求」を進め、その成果を日本語で



「JSL 社会科」67 ページ



「JSL 算数科」87 ページ

詳しい説明、描写、叙述ができるようになるために

『日本語 上級話者への道—きちんと伝える技術と表現—』



データ

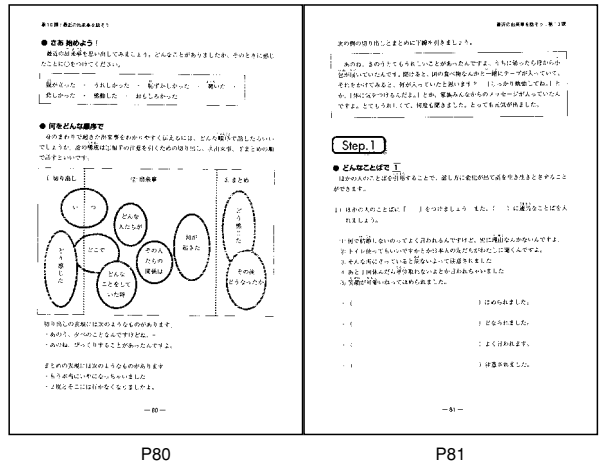
1 荻原雅佳子、増田眞佐子、齊藤眞理子、伊藤とく美 2 スリーエーネットワーク (P.11のデータ参照) 3 2005年7月29日 4 4-88319-355-1 5 B5判107ページ 6 2,310円 7 別冊：活動資料集、解答例付

簡単な会話はできるが、「自分が興味を持つていることについて詳しく説明できる」または「楽しく会話を続けられる」ようになりたいなどと思っている人は多いと思います。本書はそのような人が話す技術を学ぶための教材です。この教材は、ACTFL-OPI (全米外国語教育協会 - 口頭日本語能力インタビュー試験) の言語運用能力基準を参考にして、上級話者となるための目標を「個人的、一般的な話題について詳細な説明、描写、叙述ができること」としています。そして、具体的な目標を明示して意識化し、話す練習を順に重ねていくことにより、中級話者が上級話者へと力を伸ばすことを目指しています。

教材は12課から構成され、課のタイトル「なぐした体験を話そう」「動きの順序を説明しよう」「ストーリーを話そう」などが示すように、各課にコミュニケーション上の目標を掲げています。

各課の構成を10課「最近の出来事を話そう」を例に見てみましょう。はじめに、課の目標として①コミュニケーションの機能上の目標：「出来事をわかりやすく伝える」②ストラテジー・談話構成・文法上の目標：「引用を効果的に使う」③コミュニケーションの人間関係上の目標：「感情を生ききと伝えて共感を得る」の3種の目標が示されます。そして、「さあ始めよう！」で最近の出来事を思い出させ、次に「何をどんな順序で」で出来事をわかりやすく伝えるための談話構成を意識させます。続く「STEP

1」では「どんなことばで」で話し方に変化を付ける方法を学び、「やってみよう」で、実際に話す練習をします。「STEP 2」でも同様に練習を重ねます。巻末に資料集と解答例が付いています。



日本語教育の広く、奥深く、楽しい世界を紹介

『成長する教師のための日本語教育ガイドブック』(上)(下)



データ

1 川口義一、横溝紳一郎 2 ひつじ書房 (〒112-0002 東京都文京区小石川5-21-5) TEL. 03-5684-6871 FAX.03-5684-6872 URL.http://www.hituzi.co.jp 3 上下巻とも2005年5月21日 4 上4-89476-251-X、下4-89476-252-8 5 上A5判296ページ、下A5判328ページ 6 各2,940円

この教材は、日本語教育実習を受ける／受けている人、日本語教育について、より多くの知識を吸収したい人、自分の教え方を向上させるヒントがほしい人、自分の教え方をみつめなおしてみたい人、日本語教育の新たなトレンドについて学んでみたい人を読者として想定しています。

上・下2巻に分かれ、上巻の序章、第1章では、日本語教師としてまず自分自身の学習観や教育観を振り返り、教師としてどのような姿勢で学び、成長していくべきなのか考えさせる内容となっています。その後、教材の分析や教案検討、日本語授業の実際 (4技能の指導：理論と実践、発音指導、導入と文法説明)、教材・教具・教育機器、教室内のインターアクションな

ど、授業を準備し、実践する上で必要な技術や考え方について具体的に触れられています。第5章 (最終章) では、再び教師の姿勢を問題にし、教師の「成長モデル」を提示し、「石化化教師」にならないためのアドバイスが載っています。

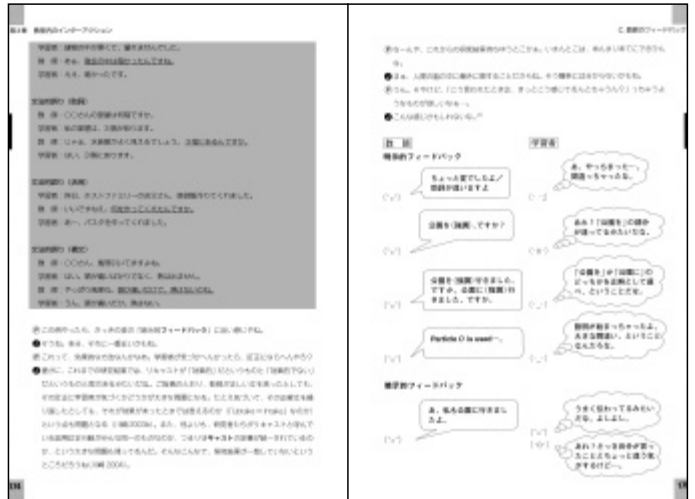
著者自身も述べているように、この本では、「評価」と「中・上級の教え方」は取り上げられていませんが、それ以外のトピックに関しては広範囲に網羅的に取り上げられています。また、決して技術や知識を与えることだけが目的ではなく、それを使って教師は何をするのか、教師

の役割はいったい何なのかを常に問いかける内容になっています。文字通り「成長する」教師になることが目指されていると言えるでしょう。

この本では、著者兩名がJohnとPaulとして登場し、問答形式で話が進められるユニークな構成になっています。著者兩名の楽しい会話

を読み進めるうちに、自然に一つの考え方にとられることなく、様々な考えがあることが理解できるようになっています。

また、豊富な参考文献がリストアップされていますので、さらに勉強を進めたい人にとっても有益です。



練習を重ねて自然な日本語を身につけよう

れんしゅう かき しぜん にほんご み
『日本語中級からのスキルバランス ワークブック』
にほんご ちゅうきゅう

データ

1 姫野昌子、村田年、伊東祐郎、藤森弘子
ひめのまさこ むらたとし いたとうすけろう ふじもりひろこ
2 発行：財団法人放送大学教育振興会（〒105-
はつこう ざいだんほうとうじんほうだいがくきょうふんきょうかい
0001 東京都港区虎ノ門1-14-1 郵政互助会琴平
とがひらけと ねとく ところ もん ぶどうせい こじよかいかことひら
ビル）TEL.03-3502-2750 FAX.03-3592-2482
URL. http://www.ua-book.or.jp/ 発売：凡人
社（〒102-0093 東京都千代田区平河町1-3-13
しや とうりやい とちよ だく ひらかわらじ
菱進平河町ビル1F TEL.03-3263-3959 FAX.03-
3263-3116 URL. www.bonjinsha.com 3 2005
年4月1日 4 4-89358-589-4 5 B5判132ペー
ジ 6 各1,890円 7 C D、解答・スクリプト付
き

「ゴロゴロ」「ピーピー」「チントンシャン」、こ
れらの言葉は日本語で何を表しているのでしょ
う。「ゴロゴロ」は雷の鳴る音で、「ピーピー」は
携帯電話の着信音、そして「チントンシャン」は
三味線の音を表しています。日本語はこのよう
な擬音語の豊富な言語です。

本教材は上記のような日本の日常生活の中
の自然な音や鳴き声の音や、日本
の自然や社会、文化を理解
することにも役立つでしょ
う。IIIでは、老若男女、いろ
いろな人々の実際の話し方を
勉強することができます。
また、インタビューの形式
なので、いろいろなインタ
ビューの答えを通して、日
本人の考え方をすることも

本教材は中級レベルの学習者の日本語力をの
びさせることができます。

ばすために作られ、次の三つの部分で構成され
ています。I「男女の会話」、II「暮らしの中の
サウンド」、III「街角インタビュー」。

Iでは、「写真」「結婚」「忘れ物」など日常生活
によく出てくる14の話題をとりあげています。

自然な話しことばをマスターすると同時に、男
性と女性の話し方の違いや会話文の特徴(省略、
順番の変化、縮約形など)を理解することもで
きます。

IIは、あるまとまった文章を聞いて理解する
ための勉強です。「ウグイス」「鈴虫」「雷」など14
の自然の音や鳴き声のテ
マを扱っているの、日本
の自然や社会、文化を理解
することにも役立つでしょ
う。

IIIでは、老若男女、いろ
いろな人々の実際の話し方を
勉強することができます。
また、インタビューの形式
なので、いろいろなインタ
ビューの答えを通して、日
本人の考え方をすることも

本人の考え方をすることも
知ることができます。

本人の考え方をすることも
知ることができます。

本人の考え方をすることも
知ることができます。

できるのでし
う。

各話題はす
べてタスク形
式です。教材
付属のCDを
聞きながら質問に答えるタスクや言い換え練習
のタスクが中心です。Iでは、イラストも多く
使われているため、イラストからも答えのピン
トが得られるでしょう。

各話題はす
べてタスク形
式です。教材
付属のCDを
聞きながら質問に答えるタスクや言い換え練習
のタスクが中心です。Iでは、イラストも多く
使われているため、イラストからも答えのピン
トが得られるでしょう。

聞きながら質問に答えるタスクや言い換え練習
のタスクが中心です。Iでは、イラストも多く
使われているため、イラストからも答えのピン
トが得られるでしょう。

聞きながら質問に答えるタスクや言い換え練習
のタスクが中心です。Iでは、イラストも多く
使われているため、イラストからも答えのピン
トが得られるでしょう。

聞きながら質問に答えるタスクや言い換え練習
のタスクが中心です。Iでは、イラストも多く
使われているため、イラストからも答えのピン
トが得られるでしょう。

聞きながら質問に答えるタスクや言い換え練習
のタスクが中心です。Iでは、イラストも多く
使われているため、イラストからも答えのピン
トが得られるでしょう。

聞きながら質問に答えるタスクや言い換え練習
のタスクが中心です。Iでは、イラストも多く
使われているため、イラストからも答えのピン
トが得られるでしょう。

聞きながら質問に答えるタスクや言い換え練習
のタスクが中心です。Iでは、イラストも多く
使われているため、イラストからも答えのピン
トが得られるでしょう。

聞きながら質問に答えるタスクや言い換え練習
のタスクが中心です。Iでは、イラストも多く
使われているため、イラストからも答えのピン
トが得られるでしょう。

聞きながら質問に答えるタスクや言い換え練習
のタスクが中心です。Iでは、イラストも多く
使われているため、イラストからも答えのピン
トが得られるでしょう。

聞きながら質問に答えるタスクや言い換え練習
のタスクが中心です。Iでは、イラストも多く
使われているため、イラストからも答えのピン
トが得られるでしょう。

聞きながら質問に答えるタスクや言い換え練習
のタスクが中心です。Iでは、イラストも多く
使われているため、イラストからも答えのピン
トが得られるでしょう。

聞きながら質問に答えるタスクや言い換え練習
のタスクが中心です。Iでは、イラストも多く
使われているため、イラストからも答えのピン
トが得られるでしょう。

聞きながら質問に答えるタスクや言い換え練習
のタスクが中心です。Iでは、イラストも多く
使われているため、イラストからも答えのピン
トが得られるでしょう。

聞きながら質問に答えるタスクや言い換え練習
のタスクが中心です。Iでは、イラストも多く
使われているため、イラストからも答えのピン
トが得られるでしょう。

聞きながら質問に答えるタスクや言い換え練習
のタスクが中心です。Iでは、イラストも多く
使われているため、イラストからも答えのピン
トが得られるでしょう。

聞きながら質問に答えるタスクや言い換え練習
のタスクが中心です。Iでは、イラストも多く
使われているため、イラストからも答えのピン
トが得られるでしょう。

聞きながら質問に答えるタスクや言い換え練習
のタスクが中心です。Iでは、イラストも多く
使われているため、イラストからも答えのピン
トが得られるでしょう。

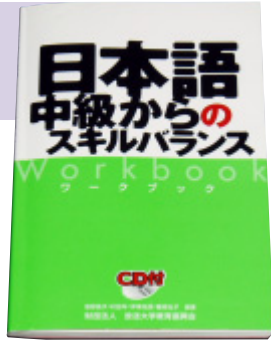
聞きながら質問に答えるタスクや言い換え練習
のタスクが中心です。Iでは、イラストも多く
使われているため、イラストからも答えのピン
トが得られるでしょう。

聞きながら質問に答えるタスクや言い換え練習
のタスクが中心です。Iでは、イラストも多く
使われているため、イラストからも答えのピン
トが得られるでしょう。

聞きながら質問に答えるタスクや言い換え練習
のタスクが中心です。Iでは、イラストも多く
使われているため、イラストからも答えのピン
トが得られるでしょう。

聞きながら質問に答えるタスクや言い換え練習
のタスクが中心です。Iでは、イラストも多く
使われているため、イラストからも答えのピン
トが得られるでしょう。

聞きながら質問に答えるタスクや言い換え練習
のタスクが中心です。Iでは、イラストも多く
使われているため、イラストからも答えのピン
トが得られるでしょう。



読解授業に仲間との協働学習を取り入れてみよう

『ひとりで読むことからピア・リーディングへー日本語学習者の読解過程と対話的協働学習』
にほんご がくしゅうしゃ どっかい かてい たいわ でききょうどう がくしゅう

データ

1 舘岡洋子 2 東海大学出版会（〒257-0003
たておかようこ とうかいだいがくしゅうしゃ
神奈川県秦野市南矢名3-10-35 東海大学同窓会
かながわけんしやのしあなみやな どうかいだいがくどうぞうかい
内 TEL.0463-79-3921 FAX.0463-69-5087
URL. http://www.press.tokai.ac.jp/ 3 2005年
3月31日 4 4-486-01666-1 5 A5判198ペー
ジ 6 2,940円

皆さんは学習者として次のような経験をした
ことがないでしょうか。ちょっと難しいテキス
トを渡されて授業の中で読まなければならない。
内容を理解できるかどうか自信が無い。独りで
読み進めるのは不安だ。ところが、クラスメー
トと分からないところをお互いに説明し合いな
がら読むと、だんだん内容がはっきりと読み取
れるようになる。独りで読むよりも楽しくて、
知識が増えたような感じがする…

そのような経験がある人にも無い人にも、著
者は、仲間と学習者との対話を通して文章を読
む活動「ピア・リーディング」を提案しています。
「ピア」とは「仲間」のことです。

話す力を伸ばすためには人と会話をするこ
と

が大切だということは簡単に分かるかもしれま
せんが、「読む」という個人的な作業を、なぜ仲
間との協働作業にすることが効果的な学習にな
るのでしょか。

著者はこの疑問に答えるために、次のように
本書を構成しています。第一章「読むこと」と
はどのような活動なのかを先行研究の成果から
まとめる。第二章「読むことに優れた日本語学
習者は、独りで読む場合でも、自分が持っている
知識をもとに、自問自答を繰り返しながら読
んでいることを明らかにする。第三章「二章ま

で明らかになった
ことを元にした実践
の報告。つまり、学
習者同士が助け合い、
対話をしながら読解
をするピア・リーディングの具体的な方法と効
果を述べる。

この本を読むときも、仲間の先生達と一緒に、
興味のあるところからピア・リーディングする
ことを勧めます。読解の授業で悩んでいる現場
の教師には、力強いヒントが得られるでしょう。



目次 ix
1. はじめに
2. 本書の構成
3. 著者の経歴
4. 謝辞
5. 参考文献

目次 x
1. はじめに
2. 本書の構成
3. 著者の経歴
4. 謝辞
5. 参考文献

目次 xi
1. はじめに
2. 本書の構成
3. 著者の経歴
4. 謝辞
5. 参考文献

目次 xii
1. はじめに
2. 本書の構成
3. 著者の経歴
4. 謝辞
5. 参考文献

P.11 ~ 13 は国際交流基金の以下の日本語専任講師が図書を選び、分担して紹介文を執筆しました。

- 木谷直之、向井園子、久保田美子、王 崇梁、長坂水晶 (執筆順)